



▲町の商工業の発展を願います

朝晩少しずつ秋の気配を感じるようになってきました。コロナ禍にあっても、季節は変わらず巡ってくることに、感慨深いものを感じながら、四季のある国に生まれた幸せを思い、今年も身近にある「小さな秋」を精一杯楽しみたいと思います。

◆9月6日、播磨町商工会の50周年記念式典が行われました。コロナ禍のため、開催が延期されていましたが、感染対策にも十分配慮しながら、規模も大幅に縮小されての開催となりました。昭和15年に任意団体として発足し、幾多の変遷を経て、昭和45年に286事業所の会員で現在の播磨町商工会がスタートしました。今や多くの会員を有する組織となり、播磨町の商工業の重要な要となっています。歴代の会長様を始め、関わってこられたすべての方々へ心より敬意を表したいと思います。町としても、コロナ禍で厳しい状況にある飲食店や中小事業者に対する支援策を、これまでいろいろな形で実施してきておりますが、まちの産業が低迷することがないように、引き続き支援してまいりたいと思っています。

◆「みんなちがって みんないい」金子みすゞの詩を思い起こしました。「誰もが自分らしく、ありのままに輝く」というメッセージを世界に発信した「東京2020パラリンピック」が、閉会しました。アスリートたちの気迫と会場の熱気が、画面越しにも伝わってくるような熱き戦いが繰り広げられ、選手たちもボランティアもスタッフも、みんなが「カッコいい」素晴らしい大会でした。数々の場面で選手たちが見せてくれたパフォーマンスが、「人間に限界はない」ということを改めて私たちに教えてくれました。たくさん「勇気」と「感動」をありがとう！次はパリですね。

播磨町長 清水ひろ子

播磨南中学校陸上競技部 全国大会出場

企画グループ ☎079(435)0356

第48回全日本中学校陸上競技選手権大会が茨城県で開催されました。本大会へ四種競技での出場が決まった播磨南中学校陸上競技部のドロバットさほさんが、大会前に町長を表敬訪問しました。ドロバットさんは「ベスト8を目指して頑張りたい」と抱負を語ってくれました。



▲町長から頑張ってくださいと言葉をかけられました

町立小中学校 8月26日から2学期を始業

学校教育グループ ☎079(435)0545

町内の小・中学校では、8月26日から2学期が始まりました。8月27日から31日については、給食は実施しましたが授業は午前中のみ行いました。

今後、感染症の拡大や災害などの際の臨時休校を想定し、タブレットを活用した学習支援を行えるよう進めています。



▲操作方法を教わる2年生

楽屋裏
楽しみにしていたイベントが中止になりました。残念です。最近の私、なんでもかんでも「コロナのせい」にする癖がついた気がします。食事が偏っているのも、運動が減っているのも、本を読むなくなっているのも、コロナのせい。あれ？なんか、おかしいですね。自分でできるコトばかりです。言い訳ばかりしていません。料理をして食欲の秋、ジョギングをしてスポーツの秋、積み上げた本を読んで読書の秋を楽しもうと思います。
(宮)

東京2020パラリンピック聖火「播磨町採火式」を開催しました

生涯学習グループ ☎079(435)0565



▲採火した火を清水町長へ渡す島田さん（播磨南高等学校）



▲「播磨町大平古代の火」

8月12日、兵庫県立考古博物館にて東京2020パラリンピック聖火「播磨町採火式」を開催しました。当日は雨天により予定していたジャンボ舞ざりから弓ざりに変更し、関係者のみでの開催となりました。

採火した火は8月13日に役場にて展示の後、8月16日に神戸総合運動公園陸上競技場にて開催された兵庫県聖火フェスティバルへ送り出されました。



▲採火式にご協力をいただいたボランティアの皆さん

「社会を明るくする運動」啓発活動を播磨町保護司会と共同で行いました

福祉グループ ☎079(435)2362

毎年7月は、全国一斉「社会を明るくする運動推進月間」「再発防止啓発月間」です。

そこで、7月20日、JR土山駅周辺において、加古川保護区保護司会播磨町ブロックと播磨町との合同により、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会をみんなで築くことを目指し、啓発活動が行われました。



▲土山駅前街頭キャンペーンを行いました

わんぱくはりまっこ



3歳 11ヵ月
佐伯 さえき かなで いずみ
奏くん・泉ちゃん
(東野添)

いっぱい食べていっぱい遊んで！
(父、母より)

※撮影時の年齢です。名前は写真の左位置から順に表記。